

平成20年11月12日

各 位

上場会社名 株式会社富士ピー・エス
 代表者 代表取締役社長 長尾 徳博
 (コード番号 1848)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 江里口 俊郎
 (TEL 092-721-3462)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,700	△1,130	△1,140	△1,200	△67.66
今回発表予想(B)	22,300	△1,600	△1,650	△1,760	△99.24
増減額(B-A)	△1,400	△470	△510	△560	――
増減率(%)	△5.9	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	22,500	△1,563	△1,519	△1,538	△86.77

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,500	△1,120	△1,130	△1,180	△66.53
今回発表予想(B)	22,200	△1,550	△1,570	△1,350	△76.12
増減額(B-A)	△1,300	△430	△440	△170	――
増減率(%)	△5.5	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	22,366	△1,630	△1,585	△1,569	△88.51

修正の理由

《通期個別業績予想》

(売上高)

当第2四半期(6ヶ月)の受注高減少による「当期受注・当期完成工事」の減少から、売上高は当初予想から1,300百万円減少の22,200百万円を見込んでおります。

(営業損益、経常損益)

手持赤字工事は減少しているものの、売上高の減少見込みに加え、想定を超えた資材価格高騰等による売上原価率のアップ、並びに受注先経営破たんによる損失発生や固定費削減施策のための一時費用の発生などから販売費及び一般管理費が増加する見通しであり、営業損益は当初予想から430百万円損失増加の1,550百万円の損失、経常損益は当初予想から440百万円損失増加の1,570百万円の損失を見込んでおります。

(当期純損益)

当社100%子会社の富士興産株式会社を本年10月1日付で吸収合併したことに伴い合併差益として342百万円を特別利益に計上したが、経常損益の下方修正と協会の経営破たんによる損失53百万円を特別損失として計上したことなどから、当期純損益は当初予想から170百万円損失増加の1,350百万円の損失を見込んでおります。

《通期連結業績予想》

連結業績予想につきましては、主に個別業績予想の修正に伴い修正を行うものであります。

なお、当期純損益で個別業績予想に比較して410百万円損失が膨らんでいる主な要因は、富士興産株式会社の合併差益342百万円が連結消去されていることによります。

* 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上